

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成30年8月23日(2018.8.23)

【公開番号】特開2017-180214(P2017-180214A)

【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-038

【出願番号】特願2016-66541(P2016-66541)

【国際特許分類】

F 0 1 N 3/08 (2006.01)

E 0 2 F 9/00 (2006.01)

F 0 1 P 3/20 (2006.01)

F 0 1 P 11/00 (2006.01)

F 0 1 N 3/24 (2006.01)

B 6 0 K 11/06 (2006.01)

B 0 1 D 53/94 (2006.01)

【 F I 】

F 0 1 N 3/08 Z A B B

E 0 2 F 9/00 D

F 0 1 P 3/20 F

F 0 1 P 11/00 C

F 0 1 N 3/24 L

B 6 0 K 11/06

B 0 1 D 53/94 2 2 2

B 0 1 D 53/94 4 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月10日(2018.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明の一態様による作業機械は、エンジンの排気ガスを処理する選択触媒還元装置、および前記選択触媒還元装置へ供給される排気ガス中に還元剤を噴射する還元剤噴射装置を有する排気ガス浄化装置を備えた作業機械において、前記エンジンおよび前記排気ガス浄化装置を収容するエンジン室を画成する建屋を備え、前記建屋は、前記エンジンの上方で前記エンジン室を覆う天板と、前記天板に設けられ、前記エンジン室内の空気を前記エンジン室の外部に排出する排気ダクトと、を有し、前記排気ダクトは、前記天板の開口部の上方を覆い、前記天板の上面と隙間を介して配置される開口カバーと、前記開口カバーを支持する支持部材とを備え、前記還元剤噴射装置に還元剤を導く還元剤供給配管の一部が、前記還元剤噴射装置の上方位置における前記天板の上面と前記開口カバーとの間に隙間を有した前記排気ダクト内であって、前記天板の上面よりも上方に位置して配置されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

エンジンの排気ガスを処理する選択触媒還元装置、および前記選択触媒還元装置へ供給される排気ガス中に還元剤を噴射する還元剤噴射装置を有する排気ガス浄化装置を備えた作業機械において、

前記エンジンおよび前記排気ガス浄化装置を収容するエンジン室を画成する建屋を備え、

前記建屋は、前記エンジンの上方で前記エンジン室を覆う天板と、前記天板に設けられ、前記エンジン室内の空気を前記エンジン室の外部に排出する排気ダクトと、を有し、

前記排気ダクトは、前記天板の開口部の上方を覆い、前記天板の上面と隙間を介して配置される開口カバーと、前記開口カバーを支持する支持部材とを備え、

前記還元剤噴射装置に還元剤を導く還元剤供給配管の一部が、前記還元剤噴射装置の上方位置における前記天板の上面と前記開口カバーとの間に隙間を有した前記排気ダクト内であって、前記天板の上面よりも上方に位置して配置されていることを特徴とする作業機械。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の作業機械において、

前記エンジンの冷却水を前記還元剤噴射装置に導く冷却水供給配管の一部が、前記還元剤噴射装置の上方位置における前記排気ダクト内に配置されていることを特徴とする作業機械。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の作業機械において、

前記還元剤噴射装置の直上に、前記排気ダクトが位置し、

前記還元剤噴射装置と前記排気ダクトの間に、前記還元剤供給配管および前記冷却水供給配管のそれぞれにおける前記還元剤噴射装置との接続部から頂部までの領域が配置されていることを特徴とする作業機械。

【請求項 4】

請求項 2 に記載の作業機械において、

前記冷却水供給配管は、ホースと、前記ホースに介装され、前記ホースの流路断面積よりも大きい流路断面積を有する貯留部と、を有し、

前記貯留部が、前記排気ダクトに配置されていることを特徴とする作業機械。